

## 上海のネットショッピング事情

上海駐在員事務所

秘書 張弦

中国においても世界金融危機の影響による消費低迷が心配される中で、上海のネットショッピング市場は絶好調のようです。上海の地元紙「新聞晨报」2009年2月16日付の記事によると、2008年の上海におけるネット販売の利用者は700万人を超え、交易総額は160億人民元(約2,240億円)、利用者1人当たりの平均年間消費額は2,200人民元(約30,800円)に達したとありました。中国ネット販売の約13.3%が上海における交易となっています。

中国で一番人気のあるHPサイトは「淘宝网(タオバオ)」です。「タオバオ」は、中国の有名IT企業「アリババ社」が出資して、2003年5月よりサービスを開始したインターネットのポータルサイトであり、サービス開始からわずか2年で中国におけるネットショッピングの市場占有率第1位(約70%)を獲得しました。その取扱商品数は、日本の「ヤフー」の2倍以上といわれており、まさにアジア最大のショッピングサイトとなっています。この「タオバオ」に様々な上海の業者が、拡大し続ける巨大市場をめざしてネット店舗を出店しています。



・「タオバオ」ショッピングのホームページ画面

ではなぜ、上海においてネットショッピングは人気を博しているのでしょうか。

第一に手軽で便利であるということ。仕事がますます忙しくなり、映画鑑賞やスポーツジム等、余暇の過ごし方も多様化する上海の若者にとって、街でショッピングに費やす時間も節約の対象となります。自宅のパソコンの前で深夜でも気軽にショッピングができるのは、とても便利です。

第二に中国全土に顧客がいること。中国の最新グッズに関する情報はやはり上海に多く集まります。広大な中国でネットを繋ぐと、広州の人でも、ハルピンの人でも、地元では買うことのできないお洒落な服飾品や、最新の電子機器を、上海から即座に取り寄せることができます。

第三は信頼性です。ネットショッピングは危ないと耳にすることがありますが、中国の商店街には不良品やニセモノがよく見受けられるので、ネット上、実際の商店ともにリスクは存在しています。ネットショッピングのヘビーユーザーは、正確な情報を発信し、購入者からの評判も高いネット上の専門店で購入した方が、信頼性は確実に高いという考えを持っているようです。

最近では、中国で乳幼児の粉ミルク問題が発生した際、ネットショッピングを利用する多くの母親が「タオバオ」で日本製の粉ミルクを購入したようです。緊急時にもネットショッピングは役に立つようですね。皆様も是非一度、中国「タオバオ」の世界を覗いてみてください。